

～原典にも挑戦してみましょ～

種の起原 / チャールズ・ダーウィン著 ; 堀伸夫, 堀大才訳. — 朝倉書店, 2009

所在 : 11号館一般 請求記号 : 467.5/Da



入門書で内容を理解した方は、がんばって原典に挑戦してみましょ。岡山理科大学には、朝倉書店版などがあります。「種の起原」は初版から影響力があった図書で、初版発行当時から様々な異論や反論も出てきており、ダーウィン自身も改訂を重ね、最終的に第6版まで刊行されました。その象徴とも言えるのが、第6版のみに掲載された、「自然淘汰の理論に対する種々の反論」(章題は朝倉書店版による)と言う章です。この章には、ダーウィンへの反論についてさえも述べられています。そこからもダーウィンは自分の論に固執することなく、とても柔軟な思考の持ち主で、研究に対し真摯に取り組んでいたことが伺えます。

ぜひ、遺伝学を学ぶ学生の皆さんには、原典もしっかりと読んで偉大なるダーウィンの研究に対する姿勢も合わせて読み取って欲しいと思っています。

～種の起原が刊行された経緯や背景、その後の進化論の発展について学ぼう～

「進化」大全 : ダーウィン思想・史上最大の科学革命 / カール・ジンマー著 ; 渡辺政隆訳.

光文社, 2004

所在 : 11号館一般 請求記号 : 467.5/Zi



それでは、どのような経緯で「種の起原」が刊行されたのでしょうか。お薦めの1冊が『「進化」大全』です。ダーウィンの乗るビーグル号がガラパゴス諸島へ向かう所から始まり、「種の起原」の発行に至るまでの経緯、その後の進化論の発展、そして最近の状況まで、様々な角度から図版や写真を使って分かりやすく書かれています。

～そして、現在～

雑誌 日経サイエンス 39巻4号 通号454 2009年4月1日発行 日経サイエンス社

最新の状況を知るには、雑誌の記事や論文を見るのが一番です。「日経サイエンス」39巻4号では、特集として「進化する進化論」を取り上げています。医学や心理学などを含んで様々な専門家が語る、最先端の進化論。進化論は、どこまで進化したのでしょうか？